

バウンダリー / Boundary of Disclosure

NTTグループ全体を対象とし、一部以下の範囲にて情報開示をしています※。

The Data Book covers the NTT Group in its entirety. The scope of reporting for some sections are as follows.*

- [A] 主要会社6社 / Main six companies: NTT, NTTドコモ(NTTドコモビジネスを含む)、NTTデータグループ(NTTデータ、NTT Data, Inc.を含む)、NTT東日本、NTT西日本、NTTアーバンソリューションズ(NTT都市開発、NTTファシリティーズを含む)
NTT, NTT DOCOMO (including NTT DOCOMO BUSINESS), NTT DATA Group (including NTT DATA and NTT DATA Inc.), NTT East, NTT West, NTT Urban Solutions (including NTT Urban Development and NTT FACILITIES)
- [A'] 主要会社7社 / Main seven companies: NTT, NTTドコモ(NTTドコモビジネス、NTTドコモソリューションズを含む)、NTTデータグループ(NTTデータ、NTT Data, Inc.を含む)、NTT東日本、NTT西日本、NTTアーバンソリューションズ(NTT都市開発、NTTファシリティーズを含む)、NTTアノードエナジー
NTT, NTT DOCOMO (including NTT DOCOMO BUSINESS and NTT DOCOMO SOLUTIONS), NTT DATA Group (including NTT DATA and NTT DATA Inc.), NTT East, NTT West, NTT Urban Solutions (including NTT Urban Development and NTT FACILITIES), NTT Anode Energy Corporation
- [A''] 主要会社5社 / Main five companies: NTT, NTTドコモ(NTTドコモビジネスを含む)、NTTデータグループ(NTTデータ、NTT Data, Inc.を含む)、NTT東日本、NTT西日本
NTT, NTT DOCOMO (including NTT DOCOMO BUSINESS), NTT DATA Group (including NTT DATA and NTT DATA Inc.), NTT East, NTT West,
- [B] 国内グループ会社 / Domestic Group companies: 348社 / 348 companies
- [C] 国内外グループ会社 / Domestic and overseas Group companies: 992社 / 992 companies
- [D] 主要会社6社 + 事業分担会社 / Main six companies + operating companies
<事業分担会社: 10社> NTT東日本グループ6社
(NTT東日本－北海道、NTT東日本－東北、NTT東日本－関信越、NTT東日本－南関東、NTT東日本サービス、NTTエムイー)
NTT西日本グループ4社
(NTTマーケティングアクトProCX、NTTビジネスソリューションズ、NTTフィールドテクノ、NTTビジネスアソシエ西日本)
<Operating companies: 10 companies> NTT East Group, 6 companies
(NTT EAST-HOKKAIDO, NTT EAST-TOHOKU, NTT EAST-KANSHINETSU, NTT EAST-MINAMIKANTO, NTT EAST SERVICE, NTT-ME)
NTT West Group, 4 companies
(NTT MARKETING ACT ProCX, NTT BUSINESS SOLUTIONS, NTT FIELDTECHNO, NTT BUSINESS ASSOCIE WEST)
- [E] 通信4社 / Four telecommunications NTT東日本、NTT西日本、NTTドコモ、NTTドコモビジネス
NTT East, NTT West, NTT DOCOMO, NTT DOCOMO BUSINESS,
- [F] NTT単社 / NTT(Non-consolidated)

※本記載のバウンダリーにあてはまらない範囲については、都度記載を行っています。

*For cases that do not fall under the above-mentioned boundaries, we document them individually.

独立第三者の保証報告書 / Independent Assurance Statement

■非財務データ集では開示する非財務データについて信頼性を高めるため株式会社サステナビリティ会計事務所による第三者保証を受けています。
下記に掲載する情報について第三者保証を受けた2024年度データには◎を付しています。
・温室効果ガス排出量: スコープ1、スコープ2(マーケット基準)、スコープ3、スコープ1+スコープ2(マーケット基準)、
スコープ1+スコープ2(マーケット基準)+スコープ3

■第三者保証報告書掲載ページ

https://group.ntt.jp/sustainability/data/assurance/pdf/independent.assurance.statement_susa.2025.pdf



独立第三者の保証報告書

2025年9月17日

NTT 株式会社

代表取締役社長 島田 明 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所

代表取締役 福島隆史

1. 目的

当社は、NTT 株式会社（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、2024 年度の各指標（対象となる指標については別紙参照。以下、「パフォーマンス指標」という。）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、パフォーマンス指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。パフォーマンス指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2. 保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・算定方針について担当者への質問
- ・算定方針の検討
- ・算定方針に従ってパフォーマンス指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3. 結論

当社が実施した保証手続の結果、パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上



(別紙)

パフォーマンス指標 一覧

項目	2024 年度実績
温室効果ガス排出量 ^{※1}	スコープ 1 : 13.0 万 t-CO ₂ e スコープ 2 (マーケットベース) : 199 万 t-CO ₂ スコープ 3 (カテゴリー1,2,3,4,5,6,7,11,12,13,14 計) : 1,842 万 t-CO ₂ e スコープ 1+2 : 212 万 t-CO ₂ e スコープ 1+2+3 : 2,054 万 t-CO ₂ e

各パフォーマンス指標のバウンダリー

※1 会社及び連結子会社

独立第三者の保証報告書 / Independent Assurance Statement

■Third-party assurance of non-financial data disclosed in Non-Financial Data documents has been received from Sustainability Accounting Co., Ltd. to increase its trustworthiness.
FY 2024 data that received third-party assurance for the following information is marked with a ©.
- Greenhouse gas emissions: scope 1, scope 2 (market basis), scope 3, scope1+scope 2 (market basis), scope1+scope 2 (market basis)+scope3

■Link to third-party assurance report:
https://group.ntt/en/sustainability/data/assurance/pdf/independent_assurance_statement_susa.2025.pdf



Independent Assurance Statement

September 17, 2025

Mr. Akira Shimada
President and Chief Executive Officer, Representative Member of the Board
NTT, Inc.

1. Purpose

We, Sustainability Accounting Co., Ltd., have been engaged by NTT, Inc. ("the Company") to provide limited assurance on the Company's Performance Indicators listed in the appendix for the fiscal year 2024 (April 1, 2024 to March 31, 2025). The purpose of this process is to express our conclusion on whether the Performance Indicators were calculated in accordance with the Company's standards. The Company's management is responsible for calculating the Performance Indicators. Our responsibility is to independently carry out a limited assurance engagement and to express our assurance conclusion.

2. Procedures Performed

We conducted our assurance engagement in accordance with International Standard on Assurance Engagement 3000 (ISAE 3000) and International Standard on Assurance Engagement 3410 (ISAE 3410). The key procedures we carried out included:

- Interviewing the Company's responsible personnel to understand the Company's standards
- Reviewing the Company's standards
- Performing cross-checks on a sample basis and performing a recalculation to determine whether the Performance Indicators were calculated in accordance with the Company's standards.

3. Conclusion

Based on the procedures performed, nothing has come to our attention that causes us to believe that the Performance Indicators have not been calculated in all material respects in accordance with the Company's standards.

We have no conflict of interest relationships with the Company.

Takashi Fukushima
Representative Director
Sustainability Accounting Co., Ltd.



(Appendix)

Lists of Performance Indicators

Indicators	Results of the fiscal year 2024
Greenhouse gas emissions※1	Scope1: 13.0 ten thousand t-CO ₂ e Scope2 (market-based): 199 ten thousand t-CO ₂ Scope3 (Categories 1,2,3,4,5,6,7,11,12,13,14): 1,842 ten thousand t-CO ₂ e Scope1+2: 212 ten thousand t-CO ₂ e Scope1+2+3: 2,054 ten thousand t-CO ₂ e

Boundary of each Performance Indicators

※1 The Company and its consolidated subsidiaries

独立業務実施者の限定的保証報告書 / Independent Practitioner's Limited Assurance Report

■非財務データ集では開示する非財務データについて信頼性を高めるためKPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。下記に掲載する情報について第三者保証を受けた2024年度データには★を付しています。

- ・従業員エンゲージメント率
- ・女性の新任管理者登用率
- ・男性育児休業取得率
- ・男女賃金格差
- ・女性管理者比率
- ・改善要請が必要なサプライヤとの直接対話率
- ・顧客エンゲージメント
- ・電気通信サービスにおける重大事故発生件数
- ・外部からのサイバー攻撃に伴う重大なインシデント件数

■第三者保証報告書掲載ページ

https://group.ntt.jp/sustainability/data/assurance/pdf/independent_assurance_statement_kpmg_2025.pdf

独立業務実施者の限定的保証報告書

2025年9月30日

NTT株式会社
代表取締役社長 島田 明 殿

KPMGあずさサステナビリティ株式会社
東京事務所

業務責任者 山田 岳

結論

当社は、NTT株式会社（以下「会社」という。）の「非財務データ」（以下「レポート」という。）に含まれる2025年4月1日現在及び2024年4月1日から2025年3月31日までの期間の★マークの付されている社会パフォーマンス指標（以下「主題情報」という。）が、レポートに記載されている会社が定めた主題情報の作成規準（以下「会社の定める規準」という。）に準拠して作成されているかどうかについて限定的保証業務を実施した。

実施した手続及び入手した証拠に基づいて、主題情報が会社の定める規準に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

結論の根拠

当社は、国際監査・保証基準審議会（IAASB）が公表した国際保証業務基準（ISAE）3000（改訂）「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」に準拠して業務を実施した。同基準における当社の責任は、本報告書の「業務実施者の責任」に記載されている。

当社は、国際会計士倫理基準審議会（IESBA）が公表した「職業会計士のための国際倫理規程（国際独立性基準を含む。）」に定められる独立性及びその他職業倫理に関する規定に準拠している。

当社は、IAASBが公表した国際品質マネジメント基準（ISQM）第1号「財務諸表の監査若しくはレビュー又はその他の保証若しくは関連サービス業務を行う事務所の品質マネジメント」を適用している。同基準は、職業倫理に関する規定、職業的専門家としての基準及び適用される法令等の遵守に関する方針又は手続を含む品質管理システムを整備及び運用することを事務所に対して要求している。

当社は、結論の基礎となる十分かつ適切な証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

当社の主題情報に対する結論の対象には、主題情報及びその保証報告書以外の情報（以下「その他の記載内容」という。）は含まれない。当社はその他の記載内容を通読したが、追加的な手続は実施していない。また、当社はその他の記載内容に対して結論を表明するものではない。

主題情報に責任を負う者の責任

会社の経営者は、以下に対する責任を有する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない主題情報の作成に関連する内部統制を整備及び運用すること
- ・主題情報の作成に適合する規準を選択又は策定し、使用した規準を適切に参照又は説明すること
- ・会社の定める規準に準拠して主題情報を作成すること

業務実施者の責任

業務実施者は、以下に対する責任を有する。

- ・ 主題情報に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて限定的保証を得るために業務を計画し実施すること
- ・ 実施した手続及び入手した証拠に基づき、独立の立場から結論を形成すること
- ・ 経営者に対して結論を報告すること

当社は、業務の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持した。当社は、主題情報に関して結論の基礎となる十分かつ適切な証拠を入手するための手続を立案し、実施した。選択した手続は、主題情報及びその他業務環境に関する当社の理解と、重要な虚偽表示が生じやすい領域の検討に基づいている。業務を実施するに当たり、当社は主に以下の手続を行った。

- ・ 主題情報の作成に適用される規準の妥当性の評価
- ・ 会社の担当者に対する、主題情報の作成に関連する主要なプロセス、システム、及び内部統制についての質問
- ・ 分析的手続（傾向分析を含む）の実施
- ・ 重要な虚偽表示リスクの識別・評価
- ・ 主題情報に含まれる数値情報についてサンプルベースによる再計算の実施
- ・ 抽出したサンプルに関する入手した証拠との突合
- ・ 主題情報が会社が定める規準に従って表示されているかどうかの評価

限定的保証業務で実施される手続の種類と時期には幅があり、合理的保証業務に比べて手続の範囲が限定されている。したがって、限定的保証業務で得られる保証の水準は、合理的保証業務が実施されていれば得られたであろう保証水準よりも低い。

以 上

上記は保証報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社及びKPMGあずさサステナビリティ株式会社がそれぞれ別途保管しています。

独立業務実施者の限定的保証報告書 / Independent Practitioner's Limited Assurance Report

■Third-party assurance of non-financial data disclosed in Non-Financial Data documents has been received from KPMG AZSA Sustainability Co., Ltd. to increase its trustworthiness.

FY 2024 data that received third-party assurance for the following information is marked with ★.

- Employee engagement rate
- New female manager promotion rate
- Ratio of Men who Have Taken Childcare Leave
- Wage gap between male and female
- Ratio of Women Employees in Managerial Positions
- Direct Dialogue Rate with Suppliers from whom Improvements Have Been Requested
- Customer Engagement
- Number of Serious Incidents
- Number of Critical Incidents due to External Cyberattacks

■Link to third-party assurance report:

<https://group.ntt/en/sustainability/data/assurance/pdf/independent.assurance.statement.kpmg.2025.pdf>

Independent Practitioner's Limited Assurance Report

To the President and Chief Executive Officer, Representative Member of the Board of NTT, Inc.

Conclusion

We have performed a limited assurance engagement on whether selected social performance indicators (the "subject matter information" or the "SMI") presented in NTT, Inc.'s (the "Company") Non-Financial Data (the "Report") as of April 1, 2025 and for the year ended March 31, 2025 have been prepared in accordance with the criteria (the "Criteria"), which are established by the Company and are explained in the Report. The SMI subject to the assurance engagement is indicated in the Report with the symbol "★".

Based on the procedures performed and evidence obtained, nothing has come to our attention to cause us to believe that the Company's SMI as of and for the year ended March 31, 2025 is not prepared, in all material respects, in accordance with the Criteria.

Basis for Conclusion

We conducted our engagement in accordance with International Standard on Assurance Engagements (ISAE) 3000 (Revised), *Assurance Engagements Other Than Audits or Reviews of Historical Financial Information*, issued by the International Auditing and Assurance Standards Board (IAASB). Our responsibilities under those standards are further described in the "Our responsibilities" section of our report.

We have complied with the independence and other ethical requirements of the International Code of Ethics for Professional Accountants (including International Independence Standards) issued by the International Ethics Standards Board for Accountants (IESBA).

Our firm applies International Standard on Quality Management (ISQM) 1, *Quality Management for Firms that Perform Audits or Reviews of Financial Statements, or Other Assurance or Related Services Engagements*, issued by the IAASB. This standard requires the firm to design, implement and operate a system of quality management, including policies or procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements.

We believe that the evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our conclusion.

Other information

Our conclusion on the SMI does not extend to any other information that accompanies or contains the SMI (hereafter referred to as "other information"). We have read the other information but have not performed any procedures with respect to the other information.

Responsibilities for the SMI

Management of the Company are responsible for:

- designing, implementing and maintaining internal controls relevant to the preparation of the SMI that is free from material misstatement, whether due to fraud or error;
- selecting or developing suitable criteria for preparing the SMI and appropriately referring to or describing the criteria used; and
- preparing the SMI in accordance with the Criteria.

Our responsibilities

We are responsible for:

- planning and performing the engagement to obtain limited assurance about whether the SMI is free from material misstatement, whether due to fraud or error;
- forming an independent conclusion, based on the procedures we have performed and the evidence we have obtained; and
- reporting our conclusion to the management.

Summary of the work we performed as the basis for our conclusion

We exercised professional judgment and maintained professional skepticism throughout the engagement. We designed and performed our procedures to obtain evidence about the SMI that is sufficient and appropriate to provide a basis for our conclusion. Our procedures selected depended on our understanding of the SMI and other engagement circumstances, and our consideration of areas where material misstatements are likely to arise. In carrying out our engagement, the procedures we performed primarily consisted of:

- assessing the suitability of the criteria applied to prepare the SMI;
- conducting interviews with the relevant personnel of the Company to obtain an understanding of the key processes, relevant systems and controls in place over the preparation of the SMI;
- performing analytical procedures including trend analysis;
- identifying and assessing the risks of material misstatements;
- performing, on a sample basis, recalculation of amounts presented as part of the SMI;
- performing other evidence gathering procedures for selected samples; and
- evaluating whether the SMI was presented in accordance with the Criteria.

The procedures performed in a limited assurance engagement vary in nature and timing from, and are less in extent than for, a reasonable assurance engagement. Consequently, the level of assurance obtained in a limited assurance engagement is substantially lower than the assurance that would have been obtained had a reasonable assurance engagement been performed.

/s/ Takeru Yamada, Engagement Partner

KPMG AZSA Sustainability Co., Ltd.

Tokyo Office, Japan

September 30, 2025

Notes to the Reader of Assurance Report:

This is a copy of the Assurance Report and the original copies are kept separately by the Company and KPMG AZSA Sustainability Co., Ltd.

環境 / Environment

◎: 第三者保証実施
◎: Third-party assurance

温室効果ガス排出量 / Greenhouse Gas Emissions							
Scope、カテゴリ Scope, Category		算出の範囲と方法 Scope and method of calculation	排出量 [万t] Emissions (ten thousand tons)				
			2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024
GHG 排出量(Scope 1+2+3) GHG emissions (Scope 1 + 2 + 3)			2,622	2,372	2,202	2,103	2054◎
GHG 排出量(Scope 1+2) GHG emissions (Scope 1 + 2)			399	290	254	232	212◎
Scope 1(直接排出) Scope 1 (direct emissions)			24	14	17	15	13.0◎
Scope 2(エネルギー利用にともなう間接排出) Scope 2 (indirect emissions from energy use)			375	276	237	217	199◎
Scope 3(バリューチェーンからの間接排出) Scope 3 (indirect emissions from the value chain)			2,223	2,082	1,949	1,871	1842◎
	カテゴリ1 購入した製品・サービス Category 1 Purchased goods and services	お客さまに販売している機器、サービスを対象に、数量・購入金額から算定 Calculation based on the number of units and monetary value of purchases of devices and services sold to customers	624	455	394	421	471
	カテゴリ2 資本財 Category 2 Capital goods	通信設備などの設備を対象に、設備投資費用から算定 Calculation based on capital investment costs on telecommunications and other equipment	554	456	487	391	286
	カテゴリ3 Scope 1、2 に含まれない燃料およびエネルギー関連活動 Category 3 Fuel- and energy-related activities not included in Scope 1 or 2	エネルギー種別ごとの年間消費量から算定 Calculation based on annual consumption by energy type	275	331	362	416	359
	カテゴリ4 輸送、配送(上流) Category 4 Upstream transportation and distribution	委託輸送、およびお客さまに販売している機器の輸送を対象に、重量・距離、または機器の数量から算定 Calculation based on weight and distance, or number of devices with regard to the transport of devices sold to customers	8	8	9	8	6
	カテゴリ5 事業から出る廃棄物 Category 5 Waste generated in operations	種別ごとの廃棄物量から算定 Calculation based on volume of waste by type	1	1	1	2	1
	カテゴリ6 出張 Category 6 Business travel	出張旅費支給額から算定 Calculation based on paid expenses for business travel	4	3	11	18	20
	カテゴリ7 雇用者の通勤 Category 7 Employee commuting	交通費支給額から算定 Calculation based on paid expenses for employee commuting	3	4	10	7	5
	カテゴリ8 リース資産(上流)※1 Category 8 Upstream leased assets*1	算定対象外 Excluded from calculation	—	—	—	—	—
	カテゴリ9 輸送、配送(下流)※2 Category 9 Downstream transportation and distribution*2	算定対象外 Excluded from calculation	—	—	—	—	—
	カテゴリ10 販売した製品の加工※3 Category 10 Processing of sold products*3	算定対象外 Excluded from calculation	—	—	—	—	—
	カテゴリ11 販売した製品の使用※4 Category 11 Use of sold products*4	お客さまに利用いただいている通信サービスや機器を対象に、サービス契約数、機器の数量・金額から算定 Calculation based on number of service subscriptions, number of devices and monetary value of telecommunications services and devices used by customers	474	455	363	292	394
	カテゴリ12 販売した製品の廃棄 Category 12 End-of-life treatment of sold products	お客さまに利用いただいている通信機器を対象に、サービス契約数、機器の数量・金額から算定 Calculation based on number of service subscriptions, number of devices and monetary value of communications devices used by customers	4	4	3	7	3
	カテゴリ13 リース資産(下流)※4 Category 13 Downstream leased assets*4	他事業者設備などで消費される電力量から算定 リース物品の平均運用量から算定 Calculation based on amount of electricity consumption such as equipment by other businesses Calculation based on average use of leased assets	268	358	303	303	291
	カテゴリ14 フランチャイズ Category 14 Franchises	販売代理店を対象に、代理店の延べ床面積から算定 Calculation based on total floor area of sales franchises	8	8	7	6	6
	カテゴリ15 投資※5 Category 15 Investments*5	算定対象外 Excluded from calculation	—	—	—	—	—

※1 カテゴリ8(リース資産(上流))は、リース資産が使用する燃料や電力はScope 1 または 2 で算定済みのため、算定対象外としました。

※1 We have excluded Category 8 (upstream leased assets) from the calculation because the fuel and electricity used by leased assets is included in Scope 1 and 2 calculations.

※2 カテゴリ9(輸送、配送(下流))は、自家物流や自社施設での排出(Scope1 または2で算定)、委託輸送(カテゴリ4で算定)がほとんどであることから算定対象外としました。

※2 We have excluded Category 9 (downstream transportation and distribution) from the calculation because these emissions are almost entirely from our own transportation and use in our own facilities (included in Scope 1 and 2) or from outsourced transportation (included in Category 4).

※3 カテゴリ10(販売した製品の加工)は、NTTグループの主事業において、中間製品の加工を実施していないため、算定対象外としました。

※3 We have excluded Category 10 (processing of sold products) from the calculation because our main businesses involve no processing of intermediate products.

※4 2023年度実績値より、カテゴリ11に計上していたレンタル製品の使用に伴う排出量をカテゴリ13に計上する方法に変更しました。これに伴い、2022年度以前のデータに遡って計上方法の変更を適用し、数値を修正しました。

※4 From FY2023, the method that had been used to record emissions from the use of rental products as Category 11 was changed to record emissions as Category 13. Accordingly, the method for recording has been applied to data before FY2022, and the figures have been amended.

※5 2022年度実績値より、カテゴリ15に計上していた排出量をカテゴリ13に計上する方法に変更しました。これに伴い、2021年度以前のデータについて遡って計上方法の変更を適用し、数値を修正しました。

※5 From FY2022, the method that had been used to record emissions as Category 15 was changed to record emissions as Category 3. Accordingly, the method for recording has been applied to data before FY2021, and the figures have been amended.

* 集計範囲: バウンダリ[C]

* Disclosure Boundary: Boundary [C]

環境 / Environment

◎: 第三者保証実施
◎: Third-party assurance

環境パフォーマンスデータ / Environmental Performance Data

項目 Category	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022		2023年度 FY2023		2024年度 FY2024	
		国内 ^{※6} Domestic	国内 ^{※6} Domestic	国内 ^{※6} Domestic	海外含む ^{※4※5} Including overseas ^{※4}	国内 ^{※6} Domestic	海外含む ^{※4※5} Including overseas ^{※4}	国内 ^{※6} Domestic	海外含む ^{※4※5} Including overseas ^{※4}
温室効果ガス直接排出量(Scope1) ^{※1} Direct Greenhouse Gas Emissions (Scope 1) ^{※1}	万t-CO2 ten thousand tons of CO2	13.1	12.2	11.9	16.6	11.1	15.0	8.6	13.0◎
温室効果ガス間接排出量(Scope2) ロケーション基準 ^{※2} Indirect greenhouse gas emissions (Scope 2) location basis ^{※2}	万t-CO2 ten thousand tons of CO2	314	244	297.5	335	302	370	306	366
温室効果ガス間接排出量(Scope2)マーケット基準 ^{※2} Indirect greenhouse gas emissions (Scope 2) market basis ^{※2}	万t-CO2 ten thousand tons of CO2	287	236	200	237	189	217	173	199◎
事業活動にともなう CO2排出量 ^{※2 ※3} CO2 Emissions from Business Operations ^{※2 ※3}	CO2排出量合計 Total CO2 emissions	298	247	210	251	198.6	229.9	180.1	209.5
	内訳 Break down	万t-CO2 ten thousand tons of CO2							
	電気の使用に伴う排出 Use of electricity		284	233	197.9	235.5	187.7	215.5	171.6
	ガス・燃料の使用に伴う排出 Use of gas and fuel		9.6	9	8.5	11.9	7.8	10.6	5.5
	社用車の走行に伴う排出 Use of vehicle operation		2.1	2	1.8	2.5	1.7	2.3	1.6
CO2以外の温室効果ガス排出量(CO2換算) Greenhouse Gas Emissions other than CO2 Emissions (CO2 emissions-equivalent)	熱の使用に伴う排出 Use of heat	2.9	2.8	1.6	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4
	CO2以外の温室効果ガス合計 Total GHG emissions other than CO2	1.4	1.2	1.6	2.2	1.6	2.1	1.4	2.2
	内訳 Break down	万t-CO2 ten thousand tons of CO2							
	CH4(メタン) CH4 (methane)		0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1
	N2O(一酸化二窒素) N2O (nitrous oxide)		0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
	HFC(ハイドロフルオロカーボン) HFC (Hydrofluorocarbon)		0.9	0.8	1.1	1.5	1.2	1.6	1.1
	PFC(パーフルオロカーボン) PFC (Perfluorocarbon)		0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
電力使用量 Electric Power Consumption	SF6(六フッ化硫黄) SF6 (sulphur hexafluoride)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
	NF3(三フッ化窒素) NF3 (nitrogen trifluoride)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
購入電力量 ^{※2} Electricity purchased ^{※2}	再生可能エネルギー・新エネルギー使用量 Renewable energy, new energy consumption	億kWh hundred million kWh	66.7	68.6	68.6	80.3	70.9	83.2	71.6
		億kWh hundred million kWh	3.1	13.7	21.8	26.7	29.0	35.3	33.6
総エネルギー消費量 ^{※2 ※4} Total amount of non-renewable energy used ^{※2 ※4}		億kWh hundred million kWh	74.1	75.5	75.3	86.9	76.4	88.7	76.1

※1 CO2以外の温室効果ガス排出量(CO2換算)を含めた排出量です。
※2 NTTグループはほかの通信事業者やデータセンター事業者がサービスを展開するために必要な設備等を提供しており、これまでその設備等に必要な燃料や電力は「地球温暖化対策の推進に関する法律」の報告方法に基づきNTTグループの排出量・使用量として公表してきましたが、環境省の「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(Ver2.3)」に基づいた算定方法を確立したため、上記CO2排出量をスコープ3として算定することとしました。これまでと同じ算出方法での排出量は()内に記載しています。また、購入電力量と総非再生可能エネルギー消費量も同様に、2018年度からほかの通信事業者やデータセンター事業者の消費量を除いた数値を記載することとし、2019年度実績値より上記CO2排出量をスコープ3として算定することとしました。
※3 事業活動にともなうCO2排出量は、CO2以外の温室効果ガスを除いた値です。
※4 総エネルギー消費量は購入電力量に、ガソリンや都市ガスなどの燃料消費量のWh換算値を加えた値です。
※5 集計バウンダリ[C]
※6 集計範囲:バウンダリ[B]

環境 / Environment

◎: 第三者保証実施
◎: Third-party assurance

環境パフォーマンスデータ / Environmental Performance Data									
項目 Category			単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
最終廃棄量と排出量 Waste and Final Disposal Waste	総排出量 Total Waste		万t ten thousand tons	46.9	47.6	51.0	49.4	47.5	
	リサイクル率※1 ※2 Recycling rate ^{*1 *2}		%	98.4	97.8	98.2 (95.9)	98.4 (96.0)	1.0	
	リサイクル量 Recycling	リサイクル量合計※2 Total amount of recycling ^{*2}		万t ten thousand tons	46.2	46.5	50.0 (48.9)	48.6 (47.4)	46.6 (45.3)
		内訳 Breakdown	撤去通信設備 Recycled decommissioned telecommunications equipment	万t ten thousand tons	14	12.3	10.2	10.2	9.8
			建築廃棄物 Recycled construction works waste	万t ten thousand tons	18.5	18.4	26.2	26.1	24.0
			土木廃棄物 Recycled civil engineering works waste	万t ten thousand tons	10.6	13	10.8	9.2	9.8
			オフィス廃棄物 Recycled office waste	万t ten thousand tons	2.4	2.2	2.1	2.3	2.3
			その他 Others	万t ten thousand tons	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	減量化(焼却)量 Amount of waste reduced by incineration		万t ten thousand tons	0.09	0.09	0.04	0.0	0.0	
最終廃棄(処分)量 Amount of final disposal waste		万t ten thousand tons	0.6	1	0.9	0.8	1.0		
廃棄物の最終処分率※3 Final Disposal Ratio ^{*3}	廃棄物全体 All waste		%	1.38	2.02	1.73	1.57	2.0	
	撤去通信設備 Recycled decommissioned telecommunications equipment		%	0.19	0.12	0.09	0.06	0.08	
アスベスト排出量 Asbestos Removed from NTT Group Facilities	アスベスト排出量合計 Total amount of asbestos removed		t	73	33	52	83	41.9	
	内訳 Breakdown	建物 Buildings	t	68	31	45	73	37.5	
		橋梁 Bridges	t	6	2	7	11	4.4	
水資源使用量 Use of Water Resources	水使用量(上下水、中水、雨水合計) Water use (total volume of tap water and sewage, recycled water, and rainwater use)		万m ³ ten thousand m ³	993.8	926.4	894.3	850.4	887.6	
	取水量(上水) Water Withdrawal (tap water)		万m ³ ten thousand m ³	514.2	475.1	463.5	431.5	446.9	
	中水+雨水 Volume of recycled wastewater and rainwater	使用量 Reused	万m ³ ten thousand m ³	35.8	37.5	37.1	42.3	29.5	
		使用率※4 Reuse rate ^{*4}	%	6.5	7.3	7.4	8.9	6.2	
	下水 Sewage		万m ³ ten thousand m ³	443.9	413.8	393.7	376.5	411.2	
純正パルプの使用量 Virgin Pulp Consumption	合計 Total		万t ten thousand tons	0.8	0.6	0.6	0.5	0.4	
	内訳 Breakdown	電話帳 Telephone directories	万t ten thousand tons	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	
		電報 Telegrams	万t ten thousand tons	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
		事務用紙 Office paper	万t ten thousand tons	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
		請求書 Billing statements	万t ten thousand tons	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	
インターネットビリングサービスによる紙資源の削減効果 Paper Consumption Reductions from Web Billing Service	契約数 Number of users		万件 ten thousand	3,201	2,841	3,542	3,543	3,574	
	紙削減量 Paper consumption reductions		t	2,871	2,527	3,015	3,041	3,043	

※1 リサイクル率: リサイクル量/総排出量

*1 Recycling rate: Recycling/Total waste

※2 2021年度までのリサイクル量は熱回収(サーマルリサイクル)を含みます。2022年から、熱回収を除くリサイクル量を算出し、()内に併記しています。

*2 The amount of recycling up to FY2021 includes thermal recycling. From 2022, the amount of recycling without thermal recycling is calculated and shown in ().

※3 最終処分率: 最終廃棄(処分)量/総排出量

*3 Final disposal ratio: Amount of final disposal waste/Total waste

※4 2017年度では水使用量(上下水、中水、雨水合計)に対する使用率を、2018年度以降は上水、中水、雨水合計に対する使用率を示しています。

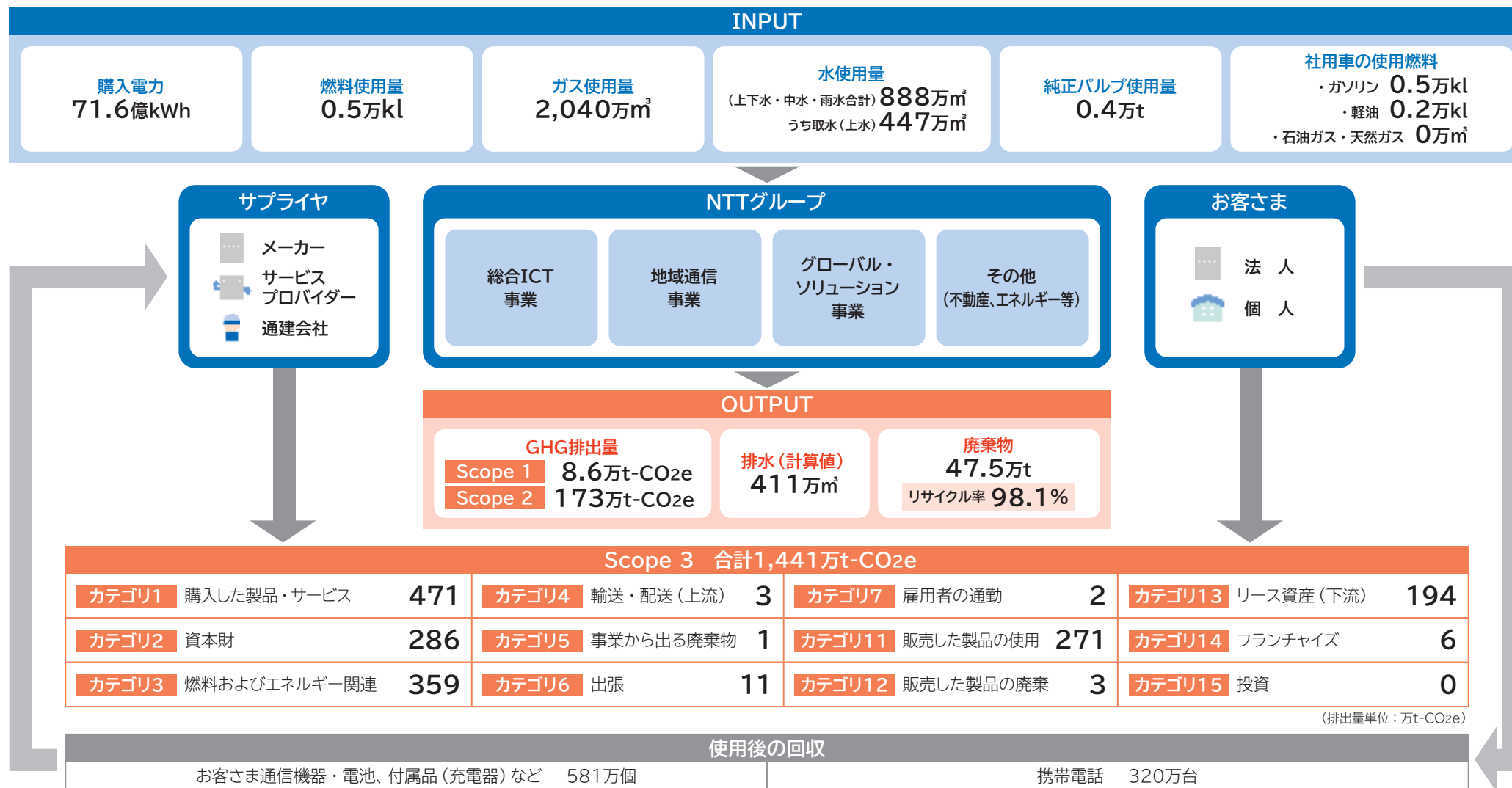
*4 The reuse rate shown up to fiscal 2017 corresponds to the total volume of tap water and sewage, recycled water, and rainwater used, while the reuse rate from fiscal 2018 onward corresponds to the total volume of tap water, recycled water, and rainwater.

* 集計範囲: バウンダリ [B]

* Disclosure Boundary: Boundary [B]

NTTグループのマテリアルバランス（2024年度）

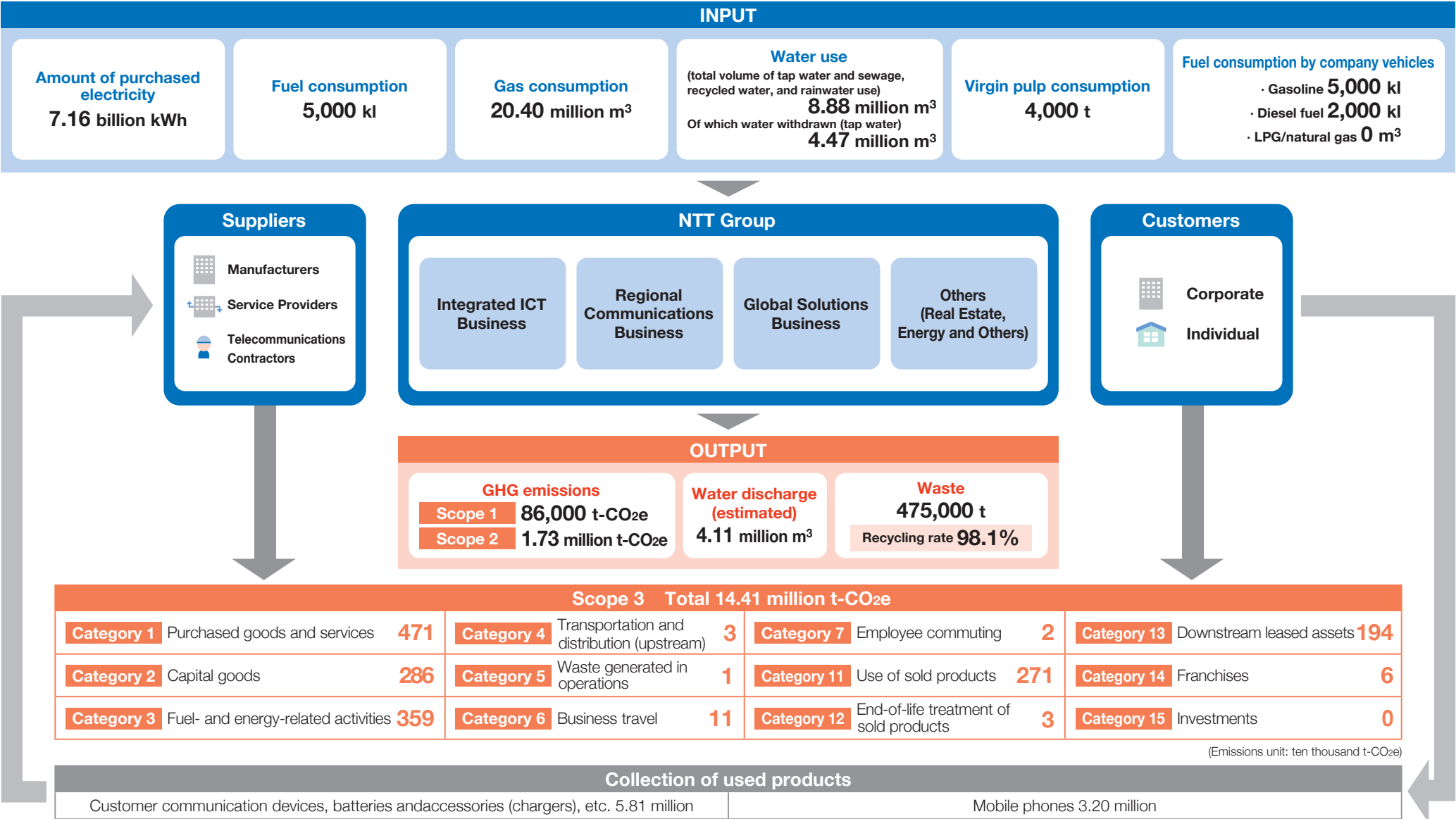
NTTグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷をできるだけ低減していくために、「事業活動を通じて、どのような資源・エネルギーを使用し、その結果、どのような環境負荷が発生しているか」について把握・分析に努めています。



* 集計範囲: バウンダリ[B]

Material Balance of the NTT Group (Fiscal 2024)

To minimize the environmental impacts of our business activities, the NTT Group endeavors to gather and analyze information on the resources and energy that it consumes and the resulting environmental impacts.



* Disclosure Boundary: Boundary [B]

社会 / Society

★: 第三者保証実施
★: Third-party assurance

雇用 / Employment									
項目 Category			バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024
全従業員数(正社員) Total number of employees			C	人 People	324,667	333,840	338,651	338,467	341,321
地域別 Employees by region	国内 Domestic	186,228			185,778	184,190	187,457	188,679	
	海外 Overseas	138,439			148,062	154,461	151,010	152,642	
	海外従業員比率 Ratio of overseas employees	%		42.6	44.4	45.6	44.6	44.7	
主要6社 Main six companies			A	人 People	49,189	49,721	45,474	43,017	44,861
	男性 Male	38,023			38,285	33,988	31,700	32,775	
	女性 Female	11,166			11,436	11,488	11,317	12,086	
	女性社員比率 Ratio of female employees	%		22.7	23.0	25.2	26.3	26.9	
NTT単体 NTT			F	人 People	2,496	2,486	2,454	2,492	2,554
	男性 Male	2,180			2,144	2,089	2086	2120	
	女性 Female	316			342	365	406	434	
	臨時従業員数 Number of temporary employees included in the above	62		66	82	85	105		
管理者数※1 Total managers※1			A※	人 People	20,630	21,034	20,092	20,094	20,598
	男性 Male	19,124			19,204	18,083	17,730	17,903	
	女性 Female	1,506			1,830	2,009	2,364	2,695	
	女性管理者比率 Ratio of Women Employees in Managerial Positions	%		7.3	8.7	10.4	11.8	13.1★	
平均年齢 Average age			F	歳 Years old	41.8	41.8	41.9	41.9	41.8
	男性 Male	42.4			42.4	42.7	42.7	42.6	
	女性 Female	37.7			37.7	37.9	37.7	37.6	
平均勤続年数 Average years of employment			F	年 Years	16.7	16.7	16.8	16.5	16.1
	男性 Male	17.3			17.3	17.5	17.3	16.9	
	女性 Female	12.9			12.7	12.8	12.5	12.3	
平均年間給与(管理職含まず) Average annual compensation (not including managers)			F	円 Yen	6,022,537	6,080,220	6,157,410	6,710,396	6,887,247
			A		6,544,513	6,561,798	6,615,690	6,835,347	6,977,076
平均年間給与(管理職含む) Average annual compensation (including managers)			F	円 Yen	—	—	—	—	10,690,766
			A		—	—	—	—	8,283,166
従業員一人あたりの基本給与と報酬額の男女比※2 Ratio of basic salary per employee and remuneration of women to men※2	管理職 Managers	基本給 Basic salary	A	—	1:1.02	1:1.02	1:1.03	1:1.04	1:1.04
		特別報酬 Remuneration			1:1.03	1:1.03	1:1.05	1:1.05	1:1.05
	一般職 Non-manual employees	基本給 Basic salary			1:1.15	1:1.17	1:1.16	1:1.16	1:1.12
		特別報酬 Remuneration			1:1.15	1:1.17	1:1.16	1:1.16	1:1.12
男女賃金格差 Wage gap between male and female			A※	%	—	—	76.8	77.7	78.4★
	うち正規雇用労働者(無期雇用含む) Of regular workers (including permanent workers)	—			—	77.0	77.6	78.4★	
	うち管理職 Of managers	—			—	91.5	91.3	90.9★	
	うち非正規雇用労働者 Of non-regular workers	—			—	79.3	83.1	73.1★	
プロフィットセンター部門における女性管理職の割合 Share of women in management positions in revenue-generating functions			※3	%	—	—	—	—	11.6
STEM関連職における女性の割合 Share of women in STEM-related positions			※3	%	—	—	—	—	8.0

※1 課長クラス以上、出向者を含みます。基準日は翌年4月1日であり、当年度に管理者登用基準に達した者を含みます。
*1 Includes section manager level and higher, as well as assigned employees. The reference date is April 1 of the following year and includes those who met the management appointment criteria during the current fiscal year.

※2 給与体系は、男女で同一の体系を適用しており差は年齢構成、等級構成などによるもの(比率は女性:男性)
*2 We have a single pay scale for men and women. Differences are due to age and job grade.

※3 集計範囲は国内主要5社(当社、NTTドコモ、NTTデータ、NTT東日本、NTT西日本)です。
*3 The scope of aggregation is the five major domestic companies (NTT, NTT DOCOMO, NTT Data, NTT East, and NTT West).

社会 / Society

★: 第三者保証実施
★: Third-party assurance

採用・エンゲージメント / Hiring・Engagement								
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
新卒採用者数 Number of new graduate hires	A	人 People	2,025	2,232	2,150	2,090	2,087	
男性 Male			1,361	1,499	1,414	1,299	1,340	
女性 Female			664	733	736	791	747	
女性採用比率 Percentage of female employees		%	32.8	32.8	34.2	37.8%	35.8%	
新卒および中途採用者数 Number of new graduates and mid-career hires	A"	人 People	—	—	—	—	—	3,621
内部採用率 Internal hiring rate		%	—	—	—	—	—	72.1
1人当たりの平均採用コスト Average hiring cost per new hire		円 Yen	—	—	—	—	—	1,575,502
外国人採用者数 Number of foreign national hires	A	人 People	42	43	76	44	59	
男性 Male			22	20	38	23	36	
女性 Female			20	23	38	21	23	
障がい者雇用率 ^{※1} Ratio of employees with disabilities ^{※1}	F	%	2.69	2.80	2.79	2.85	2.79	
	A		2.66	2.66	2.68	2.73	2.72	
離職率(定年退職含む) Turnover rate (including mandatory retirement)	A	%	7.1	6.7	9.0	9.5	12.4	
			2.8	3.4	3.3	3.0	4.7	
	B	%	7.1	6.4	5.7	4.2	3.2	
			2.8	3.6	2.6	1.5	1.4	
NTT労働組合加入率 Percentage of NWJ membership	B	%	79.4	78.8	77.2	78.2	79.1	
PRIDE指標(LGBTQ浸透指標) PRIDE indicators (LGBTQ dissemination indicators)	B	—	Gold	Gold	Gold	Gold	Gold	
従業員満足度調査 ^{※2} Enhancing employee satisfaction ^{※2}	B	%	3.9	—	—	—	—	
従業員エンゲージメント率 ^{※2} Employee engagement rate ^{※2}	※3	%	—	57	57	54	61★	

※1 取得年の6月1日時点情報を反映
※1 Reflects information as of June 1 in year of acquisition.

※2 従業員満足度調査については2020年度までの実施。以降従業員エンゲージメント率として開示。従業員エンゲージメント率は、エンゲージメントを測る指標4項目(① 当社では、仕事を成し遂げるために求められる以上の貢献をしようという気持ちになる(貢献意欲)②私は、当社で働くことを誇りに思う(愛着・誇り)③ 私は、当社を素晴らしい職場として、知人に勧めると思う(愛着・誇り)④私は、仕事を通して個人として達成感を得ている(やりがい))をNTTグループKPIとして設定し、その肯定的回答者の割合です。

※2 The Employee Satisfaction Survey was held until fiscal 2020, after which this item was disclosed as the Employee engagement rate. Employee engagement rate is the percentage of positive responses to four NTT Group Key Performance Indicators (KPIs) that measure engagement(①I am motivated to contribute more than is required to get the job done at the company (willingness to make contributions) ②I am proud to work at this company (attachment and pride) ③I would recommend our company as a great place to work to those I know (attachment and pride) ④I gain a sense of personal accomplishment through my work (satisfaction)).

※3 従業員エンゲージメント率の集計範囲は、当社、NTTドコモ、NTT東日本、NTT西日本、NTTデータグループ、NTTアーバンソリューションズ、NTTアノードエナジー及びこれらが指定する子会社^{※4}です。

※3 The scope of aggregation for the employee engagement rate includes NTT, NTT DOCOMO, NTT East, NTT West, NTT DATA Group, NTT Urban Solutions, NTT Anode Energy, and their designated subsidiaries^{※4}.

※4 指定する子会社とは別に、従業員エンゲージメント調査は順次拡大しており、2024年度より海外グループ会社も開始しています。

※4 The employee engagement survey is being sequentially expanded to target subsidiaries other than designated subsidiaries. Commencing FY2024, the survey is now conducted at NTT group companies overseas.

社会 / Society

★: 第三者保証実施
★: Third-party assurance

社内制度 / Company Systems

項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024
特別休暇(出産)利用者数 Special leave (childbirth)	A	人 People	—	—	—	—	669
	D	人 People	1,169	1,335	1,321	1,197	1,195
育児休職者数 Number of employees taking childcare leave	A	人 People	—	—	—	—	1,992
男性 Male			—	—	—	—	808
女性 Female			—	—	—	—	1,184
復職率 Ratio that returned to work		%	—	—	—	—	98.8
育児休職者数 Number of employees taking childcare leave	D	人 People	2,568	2,926	3,679	3,387	3,553
男性 Male			372	745	1,588	1,165	1,291
女性 Female			2,196	2,181	2,091	2,222	2,262
復職率 Ratio that returned to work		%	99.2	99.3	99.1	99.1	98.6
男性育児休業取得率 ^{※1} Ratio of Men who Have Taken Childcare Leave ^{*1}	A [※]	%	—	—	114.1	128.5	120.0★
育児短時間勤務者数 Number of employees taking shortened working hours for childcare	A	人 People	—	—	—	—	837
男性 Male			—	—	—	—	30
女性 Female			—	—	—	—	807
育児短時間勤務者数 Number of employees taking shortened working hours for childcare	D	人 People	2,687	2,251	2,699	2,158	2,218
男性 Male			40	44	67	56	61
女性 Female			2,647	2,207	2,629	2,102	2,157
介護休職者数 Number of employees taking nursing care leave	A	人 People	—	—	—	—	32
男性 Male			—	—	—	—	17
女性 Female			—	—	—	—	15
介護休職者数 Number of employees taking nursing care leave	D	人 People	83	73	79	98	94
男性 Male			37	31	39	48	40
女性 Female			46	42	40	50	54
介護短時間勤務数 Number of employees taking shortened working hours for nursing care	A	人 People	—	—	—	—	8
男性 Male			—	—	—	—	2
女性 Female			—	—	—	—	6
介護短時間勤務数 Number of employees taking shortened working hours for nursing care	D	人 People	77	49	27	42	46
男性 Male			34	20	14	18	14
女性 Female			43	29	13	24	32
休暇取得日数 Number of days of leave taken	A	日 Days	—	—	—	—	16.2
休暇取得日数 Number of days of leave taken	D	日 Days	16.6	17.7	18.3	17.6	17.6
総労働時間 Total hours actually worked	A	時間 Hours	1,950	1,831	1,906	1,946	1,973
年間平均時間外労働 Average annual overtime hours			296	242	262	315	316
月間平均時間外労働 Overtime hours			18.0	20.2	21.9	26.25	26.33
月間平均時間外手当 Overtime pay		円 Yen	57,096	62,160	65,940	91,612	93,721
メンタルヘルス休職者数 Number of employees taking leave for mental health	B	人 People	1,738	2,325	2,552	2,716	2,845
男性 Male			1,227	1,551	1,620	1,724	1,788
女性 Female			511	784	932	992	1,057

※1 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(平成3年法律第76号)の規定に基づき、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」(平成3年労働省令第25号)第71条の4第2号における育児休業等及び育児目的休暇の取得割合を算出したものです。
*1 Calculation based on the acquisition rate of childcare leave as specified in Article 71-4, Item 2 of the Ordinance for Enforcement of the Act on Childcare Leave, Caregiver Leave, and Other Measures for the Welfare of Workers Caring for Children or Other Family Members (Ordinance of the Ministry of Labor No. 25 of 1991), in accordance with the provisions of the Act on Childcare Leave, Caregiver Leave, and Other Measures for the Welfare of Workers Caring for Children or Other Family Members (Act No. 76 of 1991).

社会 / Society

★: 第三者保証実施
★: Third-party assurance

人事育成 / Human Resources Development								
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
教育(社員1人当たり) Average annual training	B	時間 Hours	24	34	38	40.7	43.5	
		万円 Ten thousand yen	9.1	9.0	10.3	11.7	13.3	
NTT Group Job Board※1※1	B	人 People	199	264	179	907	1520	
		異動者数 Transfer	86	106	86	463	819	
主要資格取得者数(延べ人数) Number of qualified employees (cumulative total)	B	人 People	48,754	51,185	56,200	59,294	58,222	
女性の新任管理者登用率※2 New Female Manager Promotion Rate※2	A"	%	—	29.1	29.7	27.9	28.3★	

※1 NTT Group Job Boardの実績について、2022年度以前はジョブチャレンジ / ジョブオファリングの数値を記載しています。
※1 Job challenge / Job offering values are used for NTT Group Job Board results for FY 2022 and prior.

※2 当年度管理者登用基準に達した者のうち、女性の占める割合です。

※2 The percentage of women among those who met the management appointment criteria for the current fiscal year.

顧客エンゲージメント / Customer engagement								
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
B2B2X収益額※1 Direct Dialogue Rate with Key Suppliers ※1	※1	億円 billion yen	—	—	8,154	10,581	—	
顧客エンゲージメント(NPI、NPS®)※2,3 Customer engagement※2,3	※2	%	—	—	—	—	70.5★	
		—	—	—	—	—	-31.3★	

※1 B2B2X収益額の集計範囲は、総合ICT事業セグメント、地域通信事業セグメント、グローバルソリューション事業セグメントです。

※1 The scope of aggregation for the amount of B2B2X revenues consists of the Integrated ICT Business Segment, the Regional Communications Business Segment and the Global Solutions Business Segment.

※2 顧客エンゲージメント NPI(Next Purchase Intention)は継続利用意向、NPS®(Net Promoter Score®)は他者への推奨度を測る指標です。顧客エンゲージメントの対象は、NTT東日本、NTT西日本並びにNTTドコモ※4の注力領域である中堅中小法人向けサービスとNTTドコモ※4のコンシューマ向けサービスです。(将来的には大規模法人向けサービスについての拡大を予定しています)

※2 Customer engagement NPI (Next Purchase Intention) and NPS® (Net Promoter Score®) are indicators that measure the degree to which customers recommend our services to others. Customer engagement targets small- and medium-sized enterprise services, which are the focus areas of NTT East, NTT West, and NTT DOCOMO※4 and consumer services, which are the focus areas of NTT DOCOMO※4 (with plans to expand the scope to include enterprise services for large corporations in the future).

※3 本文中に記載されているNet Promoter Score及びNPSは、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズ(現NICE Systems, Inc.)の登録商標です。顧客エンゲージメント(NPI、NPS)に関する調査は、当社グループ会社(NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション、インテージ、ドコモインサイトマーケティング)で実施しています(回答件数: 中堅中小法人向け2.2万件、コンシューマ向け10.9万件程度)。

※3 Net Promoter Score and NPS, as mentioned herein, are registered trademarks of Bain & Company, Fred Reichheld and Satmetrix Systems (now NICE Systems, Inc.). Surveys on Customer engagement (NPI, NPS) are conducted by our group companies (NTT Com Online Marketing Solutions Corporation, INTAGE, DOCOMO InsightMarketing) (Response volume: Approximately 22,000 responses for mid-sized and small corporations, approximately 109,000 responses for consumers).

※4 NTTドコモにはドコモビジネスの数値が含まれます。

※4 Figures for NTT DOCOMO include amounts for NTT DOCOMO BUSINESS.

インシデント※1 / Incidents※1								
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
電気通信サービスにおける重大事故発生件数※2 Number of Serious Incidents ※2	E	件	2	1	3	4	1★	
外部からのサイバー攻撃に伴う重大なインシデント件数※3 Number of Critical Incidents due to External Cyberattacks※3			0	0	0	0	0★	

※1 重大事故発生件数及び外部からのサイバー攻撃に伴う重大なインシデント発生件数の集計範囲は、指定公共機関である通信4社(NTT東日本、NTT西日本、NTTドコモビジネス、NTTドコモ)です。

※1 The scope of aggregation for the number of serious incidents and the number of critical incidents due to external cyberattacks consists of the four telecommunications companies that are designated public institutions (NTT East, NTT West, NTT DOCOMO BUSINESS and NTT DOCOMO).

※2 重大事故とは、電気通信役務の提供を停止または品質を低下させた、以下の条件を満たす事故の件数です。

※2 Serious incidents are incidents that either cause interruptions in the provision of telecommunications services or that cause decreases in quality, and meet the following conditions:

- 緊急通報(110、119など)を扱う音声サービス: 1時間以上かつ3万人以上
- Emergency call services (110, 119, etc.): at least 1 hour affecting at least 30,000 users
- 緊急通報を扱わない音声サービス: 2時間以上かつ3万人以上、または1時間以上かつ10万人以上
- Voice services other than emergency calls: at least 2 hours affecting at least 30,000 users, or at least 1 hour affecting at least 100,000 users
- インターネット関連サービス(無料): 12時間以上かつ100万人以上、または24時間以上かつ10万人以上
- Internet-related services (free of charge): at least 12 hours affecting at least 1 million users, or at least 24 hours affecting at least 100,000 users
- その他の役務: 2時間以上かつ3万人以上、または1時間以上かつ100万人以上
- Other services: more than 2 hours affecting 30,000 users, or more than 1 hour affecting 1 million users

※3 外部からのサイバー攻撃に伴う重大なインシデントとは、外部からのサイバー攻撃に伴う「重大事故」を指します。

※3 Critical incidents due to external cyberattacks refer to 'serious incidents' caused by external cyberattacks.

社会 / Society

★: 第三者保証実施
★: Third-party assurance

サプライチェーン / Supply Chain								
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
重要なサプライヤとの直接対話率 ^{※1} Direct Dialogue Rate with Key Suppliers ^{*1}	A'	%	—	—	100	100	—	
改善要請が必要なサプライヤとの直接対話率 ^{※2} Direct Dialogue Rate with Suppliers from whom Improvements Have Been Requested ^{*2}	A'	%	—	—	—	—	100★	
重要なサプライヤへのサプライチェーンCSR調査 (SAQ)実施率/回収率 Percentage of critical suppliers that we sent CSR surveys (SAQ) to, and percentage that were responded to	実施率 Implementation ratio	A'	100	100	100	100	100	
	回収率 Responded	A'	100	100	92.9	100	100	
確認された高リスクサプライヤ件数 Number of recognized high-risk suppliers	A'	件 Cases	0	0	0	0	0	
実際にリスクが認められたサプライヤへの是正対応の実施率 Percentage of issues recognized as actual risks that were corrected at suppliers	A'	%	100	100	100	100	100	
調達部門スタッフへのESGに関する研修の実施率 Percentage of employees in procurement trained on ESG	実施率 Implementation ratio	A'	100	100	100	100	100	

※1 算定の前提条件は以下の通りです。
分母: 調達金額上位約90%の一次お取引先さま、重要物品を扱うお取引先さま、代替不可能な製品を扱うお取引先さまを基準として選定した40社のサプライヤ
分子: 対象サプライヤの中で、サステナビリティに関する取り組み状況のヒアリング及び改善点等の意見交換を実施したサプライヤ数
*1 The assumptions used in the calculation are as follows.
Denominator: 40 suppliers selected based on the top about 90% of primary suppliers in terms of procurement amount, suppliers that handle critical goods, and suppliers that handle products that cannot be substituted.
Numerator: Suppliers with whom we interviewed about their sustainability initiatives and exchanged opinions on areas for improvement.

※2 算定の前提条件は以下の通りです。
分母: 調達金額上位約90%の一時お取引先さま、重要物品を扱うお取引先さま、代替不可能な製品を扱うお取引先さまのうち、第三者機関評価結果、SAQを踏まえて選定した38社のサプライヤ
分子: 対象サプライヤの中で、サステナビリティに関する取り組み状況のヒアリング及び改善点の共有や改善を促す意見交換を実施したサプライヤ数
*2 The assumptions used in the calculation are as follows.
Denominator: 38 suppliers selected from among primary suppliers accounting for approximately the top 90% of procurement value, suppliers handling critical goods, and suppliers handling non-substitutable products, based on third-party evaluation results and Self-Assessment Questionnaire (SAQ) responses.
Numerator: Among target suppliers, the number of suppliers with whom we conducted interviews regarding their sustainability initiatives, shared areas for improvement, and exchanged opinions to encourage improvement.

特許出願件数 / Number of patent applications								
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
特許出願件数 Number of patent applications	F	件 Cases	2,009	2,102	2,104	1,968	2,541	

社会 / Society

労働安全衛生 / Occupational Safety and Health								
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024	
労働災害事故発生件数 Number of industrial accidents	A	件 Cases	28	27	30	28	26	
業務災害 Operational accidents			2	8	6	4	7	
通勤災害 Commuting accidents			26	19	24	24	19	
度数率 Frequency rate		—	0.02	0.09	0.07	0.04	0.07	
設備工事中の重篤人身事故発生件数 ^{※1} Number of accidents causing injury or death during construction work ¹		件 Cases	1	4	2	0	2	
特定保健指導対象率 Implementation rate of specified health guidance	B	%	21.9	20.2	20.1	19.4	20.4	
特定保健指導完了率 Completion rate of specified health guidance	B	%	32.8	32.9	26.8	31.2	34.8	
定期健康診断受診率 Regular Health Check-up Rate	B	%	—	—	98.5	99.2	98.9	
精密検査受診率 Extensive Examination Rate	A	%	—	—	81.1	88.0	66.5	
適正体重者率 ^{※2} Ideal Body Weight Rate ^{*2}	B	%	—	—	63.3	63.0	62.7	
血糖リスク保有者割合 ^{※3} Percentage of Individuals with Blood Sugar Risk ^{*3}	B	%	—	—	5.3	7.5	7.1	
血圧リスク保有者割合 ^{※4} Percentage of Individuals with Blood Pressure Risk ^{*4}	B	%	—	—	16.2	16.2	15.2	
脂質リスク保有者割合 ^{※5} Percentage of Individuals with Lipid Risk ^{*5}	B	%	—	—	3.3	3.9	3.6	
運動習慣者割合 ^{※6} Percentage of Regular Exercisers ^{*6}	B	%	—	—	23.6	24.9	26	
十分睡眠者割合 ^{※7} Percentage of Individuals with Adequate Sleep ^{*7}	B	%	—	—	70.0	68.0	67.4	
非喫煙者の割合 Percentage of Non-smokers	B	%	—	—	78.9	79.3	80.3	

※1 直営工事または協力会社実施工事
*1 Construction by partner companies and directly managed construction

※2 BMI: 18.5以上25未満
*2 BMI: 18.5 and above, below 25

※3 空腹時血糖 126mg/dl以上またはHbA1c 6.5%以上
*3 Fasting blood sugar of 126mg/dl and above or HbA1c of 6.5 and above

※4 収縮期 140mmHg以上または拡張期90mmHg以上
*4 Systolic pressure of 140mmHg and above or diastolic blood pressure of 90mmHg and above

※5 中性脂肪 300mg/dl以上またはHDL 34mg/dl以下
*5 Neutral fat of 300mg/dl and above or HDL of 34mg/dl and lower

※6 週に2回×30分以上の運動
*6 Twice-weekly exercise of 30 minutes or more

※7 普段とっている睡眠で休養が「充分とれている」、「まあまあとれている」と回答した者
*7 Those answering if their regular amount of sleep provides "enough" or "about enough" rest

ガバナンス / Governance

取締役数・監査役数 / Number of Board Members and Audit & Supervisory Board Members								
項目 Category		バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024
取締役数 Number of Board Members		F	人 People	8	8	10	10	10
社内 Inside	男性 Male			4	4	4	4	4
	女性 Female			0	0	1	1	1
	計 Total			4	4	5	5	5
独立社外 Outside independent	男性 Male			3	3	3	3	2
	女性 Female			1	1	2	2	3
	計 Total			4	4	5	5	5
女性取締役比率 Ratio of female Board Members		F	%	12.5	12.5	30	30	40
監査役数 Number of Audit & Supervisory Board Members		F	人 People	5	5	6	5	5
社内 Inside	男性 Male			1	1	1	1	1
	女性 Female			1	1	1	1	1
	計 Total			2	2	2	2	2
独立社外 Outside independent	男性 Male			2	2	3	2	2
	女性 Female			1	1	1	1	1
	計 Total			3	3	4	3	3
女性監査役比率 Ratio of female Audit & Supervisory Board Members		F	%	40	40	33.3	40	40
取締役会等組織運営 / Organization of the Board of Directors, etc								
項目 Category		バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024
取締役会 Board of Directors	開催回数 Number of meetings	F	回 Times	13	15	14	12	14
	出席率 Attendance		%	99.3	99	99.1	100	100
	独立社外取締役出席率 Outside independent board member attendance			100	98.3	98.5	100	100
監査役会 Audit & Supervisory Board	開催回数 Number of meetings	F	回 Times	20	20	26	25	23
	出席率 Attendance		%	100	100	98.6	100	99.2
	独立社外監査役出席率 Outside independent Audit & Supervisory Board member attendance			100	100	97.9	100	98.6
人事・報酬委員会開催数 Appointment and Compensation Committee		F	回 Times	5	6	—	—	—
指名委員会開催数 Nomination Committee		F		—	2	5	6	6
報酬委員会開催数 Compensation Committee		F		—	1	1	1	4
取締役および監査役の報酬総額 ^{※1・2・3} Total compensation of members of the board and Audit & Supervisory Board members ^{※1・2・3}	取締役(社外取締役を除く) Members of the board	F	百万円 Million yen	387	377	445	449	365
	監査役(社外監査役を除く) Audit & Supervisory Board members			74	86	90	90	90
	社外役員 Board and Outside Audit			105	121	173	176	171
	計 Total			566	584	708	714	626
監査報酬 Compensation of NTT's Independent auditors	監査証明業務に基づく報酬 Compensation for audit services	B	百万円 Million yen	4,891	5,053	5,704	6,452	6,956
	非監査業務に基づく報酬 Compensation for non-audit services			344	392	398	424	505
	計 Total			5,235	5,445	6,102	6,876	7,461
取締役一人当たりの報酬と社員一人当たりの報酬比率 ^{※1・2・3} The ratio of the compensation per director to the compensation per employee ^{※1・2・3}		F	—	4.7:1	5.9:1	5.5:1	5.3:1	3.5:1

※1 事業年度により定時株主総会終結の時をもって退任した取締役・監査役の報酬を含んでいる場合有
*1 May include compensation to Board and Audit & Supervisory Board members who retired at the conclusion of the Ordinary General Meeting of Shareholders for the same fiscal year.
※2 取締役の報酬等の額には、各事業年度に係る役員賞与が含まれる
*2 Total compensation of members of the board includes bonuses for each fiscal year
※3 上記のほか、事業年度により使用人兼務取締役の使用人分賞与を含んでいる場合有
*3 In addition to the above, may include bonuses received by members of the board who are also employees for their service as employees, depending on the fiscal year.

ガバナンス / Governance

企業倫理ヘルプライン通報件数 / Number of Corporate Ethics Helpline Reports																		
項目 Category		バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020			2021年度 FY2021			2022年度 FY2022			2023年度 FY2023			2024年度 FY2024		
				通報件数 Number of Reports			通報件数 Number of Reports			通報件数 Number of Reports			通報件数 Number of Reports			通報件数 Number of Reports		
				懲戒処分 Disciplinary actions	厳重注意 Warnings		懲戒処分 Disciplinary actions	厳重注意 Warnings		懲戒処分 Disciplinary actions	厳重注意 Warnings		懲戒処分 Disciplinary actions	厳重注意 Warnings		懲戒処分 Disciplinary actions	厳重注意 Warnings	
全体 Overall	通報件数 Number of Reports	B	件 Cases	346	16(1)	33	314	27(2)	14	422	21	20	472	20	37	569	31(2)	30
	コンプライアンス違反 Compliance Violations			49	16(1)	33	41	27(2)	14	41	21	20	57	20	37	61	31(2)	30
	社内ルール違反 Violation of Internal Rules			49	16(1)	33	41	27(2)	14	41	21	20	57	20	37	61	31(2)	30
	法令違反 Violation of Laws and Regulations			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	違反なし No Violation			297	—	—	273	—	—	256	—	—	415	—	—	508	—	—
ハラスメント Harassment	通報件数 Number of Reports	B	件 Cases	203	11(1)	11	197	15	6	258	15	9	327	15	29	356	25(1)	21
	コンプライアンス違反 Compliance Violations			22	11(1)	11	21	15	6	24	15	9	44	15	29	46	25(1)	21
	社内ルール違反 Violation of Internal Rules			22	11(1)	11	21	15	6	24	15	9	44	15	29	46	25(1)	21
	法令違反 Violation of Laws and Regulations			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	違反なし No Violation			181	—	—	176	—	—	167	—	—	283	—	—	310	—	—
不適切な業務処理 Misconduct	通報件数 Number of Reports	B	件 Cases	60	2	11	48	3	2	81	3	6	72	3	4	106	1	4
	コンプライアンス違反 Compliance Violations			13	2	11	5	3	2	9	3	6	7	3	4	5	1	4
	社内ルール違反 Violation of Internal Rules			13	2	11	5	3	2	9	3	6	7	3	4	5	1	4
	法令違反 Violation of Laws and Regulations			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	違反なし No Violation			47	—	—	43	—	—	47	—	—	65	—	—	101	—	—
就業規則違反 Violation of the rules of employment	通報件数 Number of Reports	B	件 Cases	21	1	6	14	2	2	20	0	0	32	0	1	41	2	2
	コンプライアンス違反 Compliance Violations			7	1	6	4	2	2	0	0	0	1	0	1	4	2	2
	社内ルール違反 Violation of Internal Rules			7	1	6	4	2	2	0	0	0	1	0	1	4	2	2
	法令違反 Violation of Laws and Regulations			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	違反なし No Violation			14	—	—	10	—	—	12	—	—	31	—	—	37	—	—
会社経費の私的使用 Fraud (personal use of company funds)	通報件数 Number of Reports	B	件 Cases	19	2	2	16	5(1)	2	31	1	2	25	2	2	45	2(1)	1
	コンプライアンス違反 Compliance Violations			4	2	2	7	5(1)	2	3	1	2	4	2	2	3	2(1)	1
	社内ルール違反 Violation of Internal Rules			4	2	2	7	5(1)	2	3	1	2	4	2	2	3	2(1)	1
	法令違反 Violation of Laws and Regulations			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	違反なし No Violation			15	—	—	9	—	—	11	—	—	21	—	—	42	—	—
その他 Other	通報件数 Number of Reports	B	件 Cases	43	0	3	39	2(1)	2	32	2	3	16	0	1	21	1	2
	コンプライアンス違反 Compliance Violations			3	0	3	4	2(1)	2	5	2	3	1	0	1	3	1	2
	社内ルール違反 Violation of Internal Rules			3	0	3	4	2(1)	2	5	2	3	1	0	1	3	1	2
	法令違反 Violation of Laws and Regulations			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	違反なし No Violation			40	—	—	35	—	—	19	—	—	15	—	—	18	—	—

※(1)内は罰没処分となった件数
* Numbers in parentheses indicate dismissals

ガバナンス / Governance

倫理規範や汚職防止方針に対する違反件数 / Ethics standards and anti-corruption policy violations							
項目 Category	バウンダリー Boundary	単位 Unit	2020年度 FY2020	2021年度 FY2021	2022年度 FY2022	2023年度 FY2023	2024年度 FY2024
汚職・贈収賄 Corruption and bribery	B	件 Cases	—	—	—	0	0
人権違反(ハラスメント、差別) Human rights violations (harassment, discrimination)	B	件 Cases	29	33	32	44	52
顧客プライバシー情報の侵害 Breach of customers' private information	B	件 Cases	—	—	—	0	0
利益相反取引の実施 Execution of conflicting interest transactions	B	件 Cases	—	—	—	0	0
マネーロンダリング・インサイダー取引 Money laundering and insider trading	B	件 Cases	—	—	—	1	0